

特別養護老人ホーム只狩荘（五島市）

事業所での課題認識

■導入の目的と導入前の状況

すでに、高齢の介護助手や子育て中のスタッフ、シングルマザー等多様な人材が働いており、子育て中のスタッフ等は、希望を出せば夜勤を免除できるような仕組みにしているため、早朝や夜遅い時間帯を担える人材の層が薄くなりやすい状況がありました。また離島という立地から、外国人人材や移住者など島民以外を対象とした人材確保策を検討する必要がありました。



■プロジェクトを進める上での課題

くるみん認定やユースエール認定の取得や、ノーリフティングケアやIoTの導入など、働きやすい環境づくりのために様々な取組を行っていました。介護未経験の方でも安心して働ける環境があることを只狩荘の魅力として言葉にし、県外の人に向けて効果的に発信する手法を検討する必要がありました。

実施内容・導入効果

只狩荘の魅力を伝えるため、様々な働き方をしている職員に集まってもらい、「うちの施設のいいところ探し」ワークショップを開催しました。このワークショップの結果と、実際に五島に移住して同法人で働いている方へのインタビューや五島市の移住担当窓口へのヒ

アリング内容などを素材にパンフレットと求人チラシを作成しました。現在、このパンフレットはオンライン面談会や介護福祉士養成校などで配布しています。また、移住後も安心して働いてもらえる環境をつくるために、法人公認サークルの活動開始や職員アパートの準備も行いました。

その結果、令和4年度には3名だった新規入職者が、令和5年4月には8名、そのうち6名が島外からの移住者となりました。

■モデル事業実施内容

- ①多様な働き方を実現するための課題と魅力の整理
- ②県外の人に向けたプロモーション
- ③求人チラシの作成

■施設担当者の声

- ・五島市や法人の魅力を再発見する機会になりました。就職活動が本格化する時期にホームページや求職サイトの情報を更新し、問合せがあった人にパンフレットを送付しました。
- ・仕事以外の時間も充実した時間にし、職員の心の余裕や笑顔を大事にしたいと思い、釣りサークルをつくりました。

■モデル施設の概要

- 特別養護老人ホーム
- 職員数 52名
- 利用者数 57名
- 「高齢者総合ケアセンター只狩荘」として、特別養護老人ホーム、短期入所、通所介護が併設している。